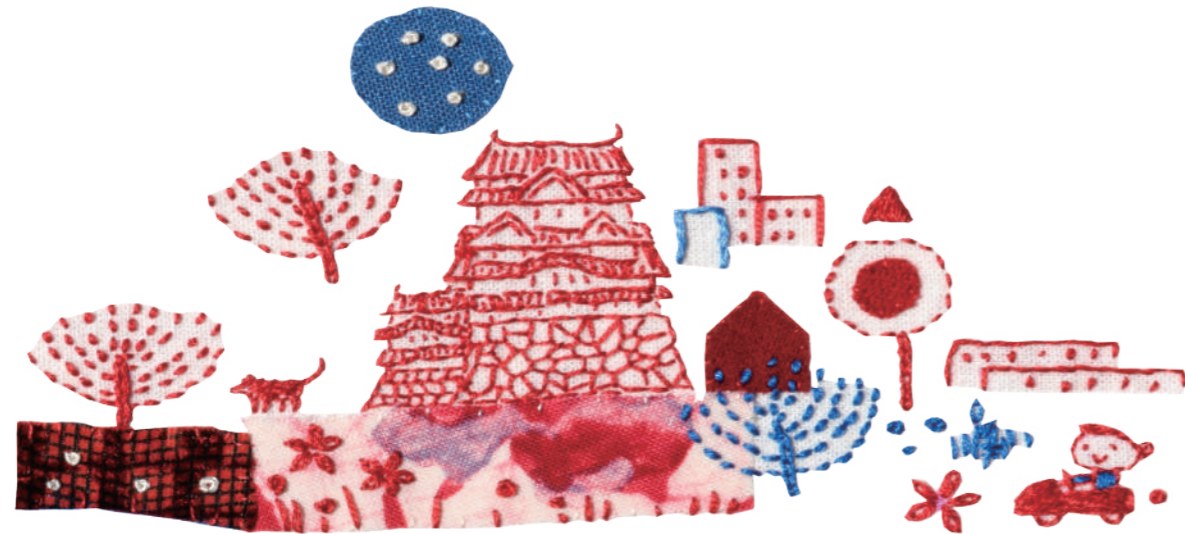


Challenge
×
Enjoyment



思いやりのある看護を提供します



独立行政法人国立病院機構

姫路医療センター

〒670-8520 兵庫県姫路市本町68番地

TEL: 079-225-3211 <https://himeji.hosp.go.jp>

姫路医療センターはこちら



インターンシップはこちら



独立行政法人 国立病院機構

姫路医療センター



病院理念

思いやりのある最善の医療を提供し、患者さんと地域、社会に貢献します。

Challenge
×
Enjoyment



病院の特徴

姫路医療センターは兵庫県中・西播磨医療圏の基幹病院で、地域の医療を支えている病院です。肺がんを主に様々な部位のがん診療、がん看護を担っている地域がん診療連携拠点病院であり、呼吸器センター、消化器センター、高精度放射線治療センター、緩和ケアセンターを有しています。各診療科が安全で、確実で、低侵襲の治療の提供を目指しており、患者さん・ご家族の意向を尊重したその人らしい看護の提供に努めています。特に、病気を抱えながら生活する患者さんの療養の場について、地域との強力な連携を図りチーム医療を積極的に行っています。また、地域の救急医療にも積極的に貢献しており、DMAT活動等多くの経験を積んできています。

呼吸器センター

高精度放射線治療センター

消化器センター

地域がん診療連携拠点病院

地域医療支援病院

兵庫県災害拠点病院



看護部理念



私達は看護を必要とする人の尊厳及び権利を尊重し、

専門知識、技術と**思いやりをこめた看護**が提供できるよう最善の努力をします。



地域・人との
つながりを
温もりと笑顔に
変えて



看護部目標

- 1 安全・安心で信頼される専門性の高い看護の提供
- 2 連携を充実させ、患者や地域からの信頼を高める
- 3 経営改善への積極的参画
- 4 新たな教育体制を整備し、組織人として自律した人材の育成・定着
- 5 働き方改革を踏まえた業務改善のさらなる改善



病院概要

病床数 411床 (ICU6床、HCU6床)

標榜診療科目 28診療科 (内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、【産科】、【婦人科】、眼科、耳鼻いんこう科、リウマチ科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、糖尿病・内分泌内科、頭頸部外科、緩和ケア内科、病理診断科)

【 】は休診中



看護部長
望月 知奈美

「思いやりをこめた看護」を提供できるよう、職員間での「思いやり」と一人一人が自分を大切にできる「自分への思いやり」を大切にしています

姫路医療センター看護部は、「私達は看護を必要とする人の尊厳及び権利を尊重し、専門的知識、技術と思いやりをこめた看護が提供できるよう最善の努力をします」という理念を掲げ、地域の方々のニーズに応えられるような看護をめざしております。

地域がん診療拠点病院としての役割を果たすべく、病棟・外来・地域をシームレスに繋ぎ、低侵襲治療をはじめ緩和ケアに至る専門性の高い看護実践が提供できるよう取り組んでおります。専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者の活動を推進し、あらゆるニーズに対応できるよう体制を整えると共に、人材育成のための教育体制充実にも力を注いでおります。理念に掲げている「思いやりをこめた看護」を提供できるよう、職員間での「思いやり」と一人一人が自分を大切にできる「自分への思いやり」を大切にしています。

播磨地域の基幹病院として、新型コロナウイルス感染症対策においてもその役割を果たしてきました。これからも地域の皆さまが安心してこの病院を選んでいただけるよう、努力を重ねてまいりたいと思います。

～共に働く皆さんへ～

私達は、看護師としてのキャリア形成を支援するために、国立病院機構として一貫した能力開発プログラムを構築しています。新人看護師として基礎的能力の習得から専門性の発揮へと段階的にステップを踏み、看護の専門性・看護管理・看護教育等、目指す看護に向け一歩ずつ踏み出していただけるよう、教育理念・方針のもと支援をしています。

教育理念

病院・看護部の理念に基づき、倫理観に基づいた豊かな人間性と社会性を備え、信頼される質の高い看護サービスができる看護師を育成します。
また、専門職業人として自己のキャリア開発ができる看護師を育成します。

教育方針

- 1 人の尊厳及び権利を尊重し、自ら看護実践能力の研鑽ができる人材の育成
- 2 変革する医療を取り巻く社会に対応するための病院の経営ニーズを理解し行動できる人材の育成
- 3 看護の専門家としての科学性、倫理観、創造性に基づくケア技術の提供ができ、患者に寄り添うことができる感性をもつ人材の育成



看護単位の紹介

3 F

A-3 病棟

呼吸器外科、耳鼻いんこう科、形成外科 二交替 7:1

主に手術療法を中心とした外科病棟です。その他に化学療法、放射線療法など、治療を受ける患者さんの生活を支えられるよう看護を提供しています。

B-3 病棟

呼吸器内科 二交替 7:1

慢性呼吸器疾患では、退院後も自己管理して生活することが重要になります。安全に治療が行えるとともに、退院後の生活を整えられるよう看護しています。

C-3 病棟

循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科 二交替 7:1

緊急カテーテルや化学療法、糖尿病教育入院など求められる看護は多岐に渡ります。よりよい看護を提供するため、他職種と連携し日々精進しています。

D-3 病棟

消化器内科、血液内科 二交替 7:1

がん患者さんの入院が多く、内視鏡治療や化学療法、放射線療法を行っています。患者さんへ分かりやすい説明や苦痛を最小限に安心して治療を受けられるよう副作用の予防に努めながら看護を行っています。

2 F

手術室

内視鏡下手術に加え令和元年から手術支援ロボット（ダヴィンチ）を導入し、チーム一丸となり術前から術中、術後とシームレスな看護を提供しています。

ICU
A-2 病棟

外科（消化器外科、乳腺外科） 二交替 7:1 / ICU

急性期～回復期の看護を行い、中でもストマ造設患者さんのセルフケア自立に向け術前～術後、退院後と継続した看護を行っています。ICUはハイリスクな術後患者さん、敗血症や重症外傷等の患者さんを受け入れています。

C-2 病棟

COVID-19 専用病床 二交替 7:1

軽症～中等症の患者さんを受け入れ、面会等の制限のある中で、患者さんの気持ちにより添う看護を実践しています。

D-2 病棟

緩和ケア病棟 二交替 7:1

平成31年4月に開棟した緩和ケア病棟です。患者さんの一瞬の笑顔や穏やかな時間を求めて、自分たちにできることを一緒に考えています。また在宅ケアチームの一員として地域と連携したケアを目指しています。

1 F

外来

24 診療科

化学療法室、内視鏡検査室、放射線治療室、血管造影室、救急外来、看護専門外来を備え、それぞれの専門性を活かし通院治療をサポートしています。地域医療連携室や病棟、他職種と連携を図り、患者さんが安心して療養出来るように支援しています。

A-1 病棟

整形外科、泌尿器科、眼科 二交替 7:1

手術、化学療法、放射線治療を受ける患者さんの看護を中心に、急性期から回復期までの患者さんの看護を実践しています。他職種と協働し患者さん中心のチーム医療の推進に取り組んでいます。

HCU
C-1 病棟

呼吸器内科ほか 二交替 7:1 / HCU 二交替 4:1

気管支鏡検査、薬物療法、放射線療法を受ける患者さんが大半を占めます。HCUは呼吸状態が悪化した緊急入院の患者さんが多く、変化を察知し症状を緩和、不安をサポートできるように実践力を強化しています。


※ 二交替 7:1 などの表記は勤務体制や看護体制を示しています。






チーム医療


専門知識・技術を生かしたチーム医療で連携の輪を広げていきます



退院調整看護師 尾崎 薫
最良と思われる療養先の選択、社会資源の活用などの意思決定支援や実際のサービス利用調整を行っています。地域の医療機関等、各病棟・外来の専任退院支援職員等との退院支援・退院調整の連携は「濃厚」に行っています。




がん性疼痛看護認定看護師 永濱 加世子
患者さんご家族に寄り添う緩和ケアチームとして活動しています。痛みなど身体症状への医療的アプローチだけでなく、体と心と暮らしを支え、その人らしく過ごすことができるようお手伝いしています。



がん放射線療法看護認定看護師 池淵 かおり
医師や放射線技師とチームを組み、患者さんの生活の質を保ちながら最善の医療が提供できるよう取り組んでいます。看護師は、副作用を最小限に抑えるケアを患者さん自身が実践できるよう生活を支援しています。



緩和ケア認定看護師 銅山 慶子 神田 智香
患者さん・ご家族との関わりの中で体験する苦痛や症状を捉え、看護実践やカンファレンスを通じてQOLの改善に向けたケア方法を多職種と協力し、看護が実践できるように努めています。



緩和ケア認定看護師 橋本 みさ子
(緩和ケアセンター ジェネラルマネージャー)
患者さんやご家族に、治療法の決定や療養場所の選択等、生きる希望を支えるケアを提供できるように支援しています。また、切れ目ない緩和ケアの提供が円滑に進むように院内外の調整も対応しています。




緩和ケアチーム



褥瘡対策チーム



救急医療



内視鏡検査



緩和ケアチーム



褥瘡対策チーム



救急医療



DMAT



がん化学療法室



医療安全




看護専門外来



地域医療連携室



DMAT



COVID-19専用病床



がん化学療法室



ICT 感染対策チーム



NST 栄養サポートチーム



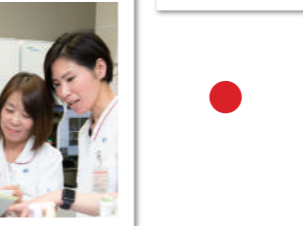
フットケア外来




RST 呼吸ケアサポートチーム




臨床研究推進室




治験コーディネーター




慢性呼吸器疾患看護認定看護師 藤田 今恵
呼吸ケアサポートチームのメンバーとして多職種と協働しながら患者さんのラウンドを行っています。認定看護師として病気と共に生活をする患者さんの声に耳を傾け、主に息苦しさを軽減するための支援を行っています。




臨床研究コーディネーター 森下原 久美子 竹田 彩希
「治験は次世代への贈り物」であり、国内の医療の質をあげるため当院ではチームで取り組んでいます。CRCは被験者さんの安全を守りながら治験が適切に進むよう支援し、全体をコーディネートする役割を担っています。




皮膚・排泄ケア認定看護師 桑田 麻名 南 奈保子
がん治療をされている患者さんも多く、抗がん剤による副作用で皮膚障害を発症される方もおられます。がんに関わる認定看護師が複数在籍しているため、お互いの知識・技術を持ち寄り、患者さんへより苦痛のないケアが提供できるよう努めています。



がん化学療法看護認定看護師 山本 佳奈
がん化学療法を受ける入院患者さんが安全に治療を受けられるように適切な投与管理や副作用症状に対するケアを行っています。また、退院後の生活を見据え、生活に合わせたセルフケアの方法について共に考え、退院後も安心して療養生活を送ることができるように支援しています。



感染管理認定看護師 三木 久子 駒田 美和
術後の早期回復のためには創(手術の傷)感染や肺炎などの予防は重要です。また、抗がん剤治療や放射線治療により免疫力の低下した患者さんが治療を継続して受けられるためにも感染予防は重要なため、病院に関わる人全てが適切な感染対策の実践ができる様に取り組んでいます。近年ではCOVID-19の感染拡大防止に感染対策チームが一丸となって対応しています。



がん薬物療法看護認定看護師、特定行為研修修了看護師 山本 理恵
患者さんが社会生活や趣味、生きがいなど自分らしい生活をこれまでと変わらず維持しながら安全に治療を受けられるよう、専門的知識を持った専従医師・薬剤師と協働し副作用の管理と適切な薬剤の取扱いおよび投与管理に努めています。また、様々な不安を抱え治療後を自宅で過ごす患者さんの相談に、医学的根拠に基づき、包括的にアセスメント・判断し、タイムリーにかつ安全に対応しています。

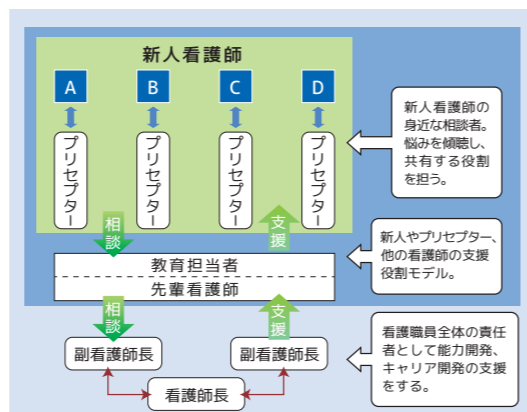


新人看護師

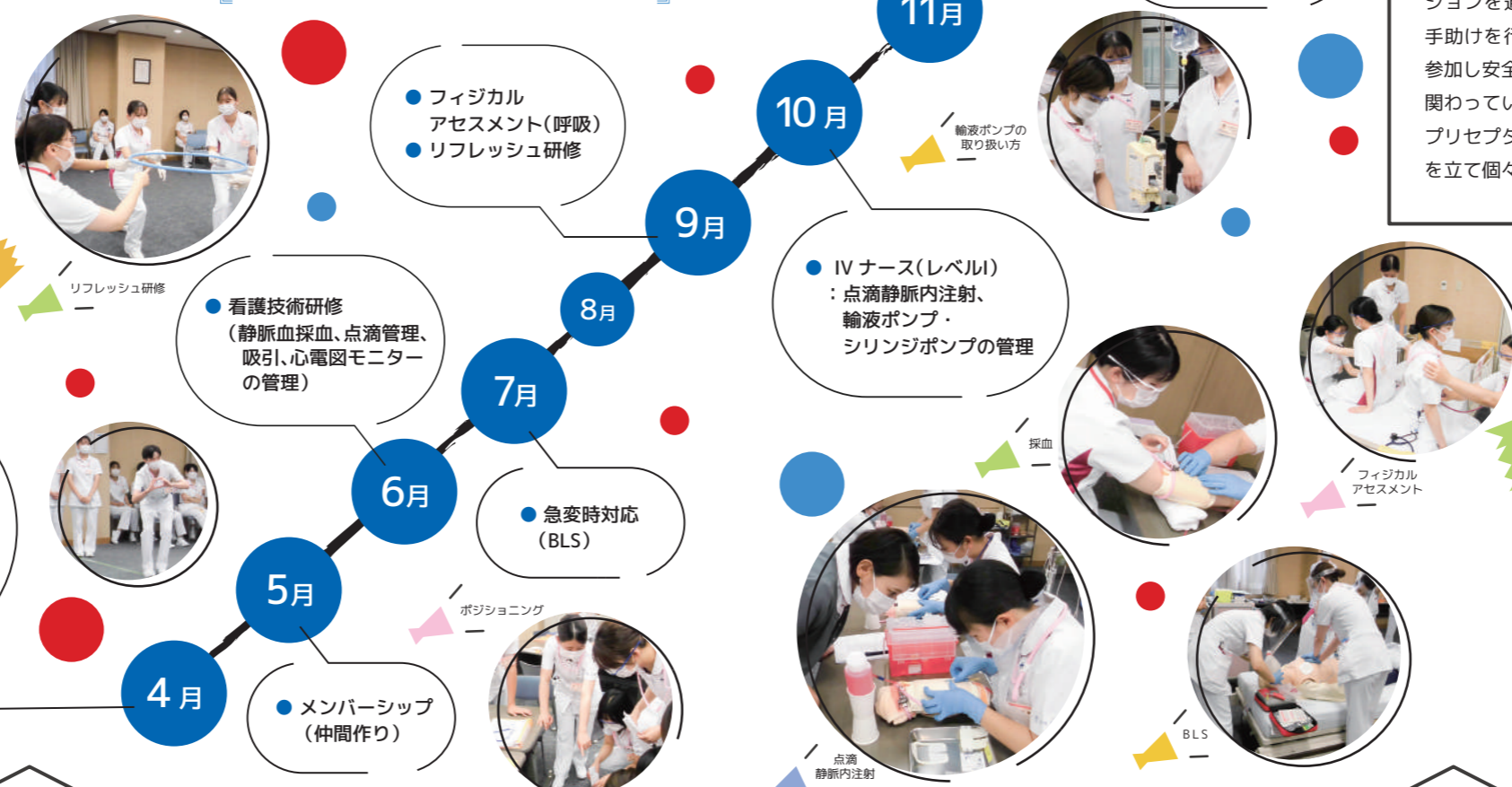
プリセプター・教育担当者を中心に、ひとり1人の看護の体験をサポートしながら成長を支えます

新人看護師支援体制

- TOPIC 01** 各病棟では新人看護師の最も身近な相談者として悩みを共有する役割を担うプリセプターを配置しています。
- TOPIC 02** 各病棟に教育担当者を配置し、新人看護師・プリセプターの教育と看護実践を全面的にバックアップしています。
- TOPIC 03** 先輩看護師・副看護師長・看護師長が協力し、病棟全体で新人看護師を支え、先輩看護師が日々の看護実践の場面を通して、専門職業人としての成長を支援します。



新人看護師研修年間スケジュール



プリセプター (B-3病棟 巻野 萌華)

私は今年2年目看護師で、プリセプターを担当しています。新人の時は新しい環境で戸惑うことや、不安になることが多くありました。その自身の経験を踏まえて、1年目看護師のメンタルサポートや技術練習などを行っています。これからもチーム一丸となって患者さんにより良い看護が提供できるように、1年目看護師と一緒に成長していきたいです。

新人看護師 (C-3病棟 前田 由香里)

私は呼吸器・循環器内科で勤務しています。わからない知識や技術があると先輩看護師からいつも丁寧に教えてもらっています。身に付いた知識や技術で、患者さんによりよい看護ができた時にやりがいを感じます。毎月の研修では、他病棟の同期と一緒に切磋琢磨しています。これからも思いやりを大切にしたい看護ができるよう頑張っていきたいです。

先輩看護師からのメッセージ A-1病棟 菅原 奈保子

私の勤務する病棟は整形外科、泌尿器科病棟です。手術や化学療法、検査など入退院が多く新人看護師さんは圧倒されたり、不安に思うことが多いかもしれませんが、不安なく実施できるように慣れるまでは先輩看護師がその都度、側に付いて指導を行っています。この病棟のスタッフは皆、看護師としての責任感を持ちながら、毎日関わる患者さんとの笑顔でのコミュニケーションを大切にしています。

教育担当者からのメッセージ OP室 村岡 綾

新人看護師は慣れない環境の中で不安と緊張を抱え働いています。新人看護師が相談しやすい雰囲気をつくり、共に看護を振り返りながら自信を持って看護が実践できるようにチーム全体でサポートしています。患者さんへ安全な医療の提供と共に患者さんの思いに寄りそったあたたかな看護が実践できるよう共に成長していきましょう。

教育担当看護師長からのメッセージ
教育担当看護師長 倉元 芳枝

当院では看護職員能力開発プログラム (ACTyVer.2) に応じて、看護師ひとりひとりの看護実践能力の向上と人間性を育成する目的を持ち、コロナ禍でも感染対策を行いしっかりとサポートする体制を整え研修を行っています。

新人教育では看護専門職としての自覚を育むことや看護実践に必要な基本的能力、看護倫理を重視しグループワークやリフレクションを通じて、看護に対する理解を深め、やりがいを見つける手助けを行っています。さらに、院内のスペシャリストが研修に参加し安全で質の高い看護を患者さんやご家族に提供できるように関わっています。また、病棟では教育委員をはじめ、教育担当者・プリセプターが教育プログラムに沿って、ともに相談しながら目標を立て個々の成長を支えています。



ワークライフバランス/キャリアアップ

安心して働き続けられる環境とキャリアアップ できる機会を提供します

ワークライフバランス

働き続けるための制度が充実 深瀬 真悟



私は1ヶ月間の育児休業を取得しました。育児休業を取得出来る期間は、子供の成長が著しい時期でもあり、生活リズムもこれまでとは全く違います。妻と一緒に育児に参加することで、育児のノウハウを身につけられるとともに、苦労も共有できるようになり、お互いの理解が深まりました。

妻のサポートをしながら子供の成長を見守るという育休生活は、仕事から離れ育児に専念できるため、仕事と育児にメリハリがつけられます。育休明けには、両方のモチベーション向上に繋がりました。

家庭と育児を両立 泉 晶子



当院は育児支援制度が整っており、一人目の職場復帰の時から育児支援制度を利用しています。現在3人の子供を育てながら病棟で働いています。病棟のスタッフの支えと一緒に働くママナースの姿を励みに日々楽しく仕事ができています。

スタッフの支えと一緒に働くママナースの姿を励みに日々楽しく仕事ができています。

キャリアアップ

長期研修やキャリアアップが充実 上月 由美



当院に看護師として就職後、どういう道を進んでいきたいか、自分の強みは何なのか悩み、いろいろな分野の研修に参加しました。そんな中、学生指導に関心を持つようになり、7ヶ月の専任教員養成講習会を受講し、教員資格を取得しました。当院は看護師として活躍の場を広げてくれる支援体制が整っており、モチベーションアップにつながっています。

当院に看護師として就職後、どういう道を進んでいきたいか、自分の強みは何なのか悩み、いろいろな分野の研修に参加しました。そんな中、学生指導に関心を持つようになり、7ヶ月の専任教員養成講習会を受講し、教員資格を取得しました。当院は看護師として活躍の場を広げてくれる支援体制が整っており、モチベーションアップにつながっています。

異動後もキャリアアップを継続 野崎 さつき



私は大阪医療センターから異動してきました。新しい環境で働くことに始めは不安や緊張もありましたが、スタッフの方々からサポートをいただき、やりがいを感じながら日々看護をすることができています。国立病院機構では統一された教育プログラムがあり、異動した後もキャリアを引き継ぎ継続して教育を受けることができ、これまでの経験を糧に仕事に励んでいます。

特定行為研修

医師からの直接指導を受けて 藤田 今恵



特定行為とはあらかじめ医師が定めた手順書に準じて、看護師が診療の補助を行うことです。働きながら研修を受けており充実した日々を送っています。患者さんのQOLの向上の一助になれるよう、日々医師から直接指導を受けながらがんばっています。

働きながら研修を受けており充実した日々を送っています。患者さんのQOLの向上の一助になれるよう、日々医師から直接指導を受けながらがんばっています。

患者さんの回復促進のために 志水 リカ



私は周術期や呼吸器疾患の患者さんを見ていの中で、動脈血採血を看護師が行えれば知りたい患者の情報をタイムリーに把握でき、酸素デバイス変更ができると思っていました。特定行為研修での学びを活かし回復の促進や重症化を防げるように関わっていききたいと思います。

回復の促進や重症化を防げるように関わっていききたいと思います。

交通アクセス

- 電車
山陽新幹線・JR「姫路駅」または山陽電鉄「姫路駅」下車、徒歩約20分
または路線バスにて約5分(1.6km)「医療センター前」下車
- 自動車
→国道2号線から北へ0.5km
→中国自動車道「福崎インター」から播但連絡道を南へ15km
→山陽自動車道「姫路東インター」から国道372号線を西へ5km



ロケーション

当センターは世界遺産姫路城に隣接し、交通至便な姫路市の中心にあります。また神戸・大阪・京都にもアクセスが良く、休日のお出かけなどプライベートも充実した日々を過ごせます。



●しらすぎ保育所

病院の敷地内にあり、小さなお子さんがある方も安心して預けることができます。



●病児保育室

経験豊かな専属看護師が在席しているので、勤務に専念できる環境です。

